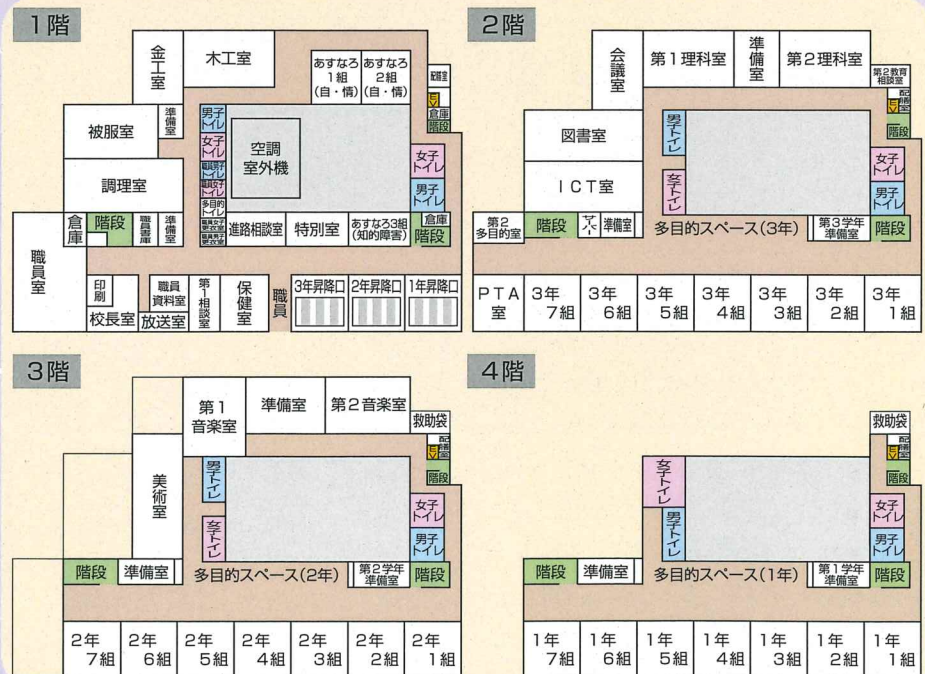


# 学校の沿革

- 昭和46. 4. 1 水戸市立見川中学校開校
- 46. 7.25 水泳プール完成
- 46.10.30 屋内運動場完成
- 49. 3.20 増築校舎完成(普通教室4, 図書室, 資料室2)
- 50. 4. 1 県教育委員会指定「学習指導に関する研究」推進校旗制定
- 51. 4. 1 新館増築校舎着工
- 52. 3.31 文部省指定「市道徳教育推進地区研究校」推進
- 52. 4. 1 新館増築工事竣工
- 54. 4. 1 創立10周年記念式典挙行
- 55.11.23 校歌制定, 校歌碑建立, いこいの広場造成
- 55.11.23 校訓碑建立(正しく, 強く, 美しく)
- 56. 3.16 文部省指定「教育課程実施状況調査研究校」推進
- 57. 5. 1 プレハブ校舎設置
- 57. 6. 1 保健室, 第2職員室整備
- 60. 8.31 「生徒指導に関する研究紀要」発行
- 61. 5.31 「学習指導に関する研究紀要」発行
- 63. 4.30 姉妹校(県立聾学校)交流事業指定校
- 平成元. 4. 1 武道館完成竣工式
- 2. 6. 2 創立20周年記念式典挙行
- 2.11.18 県生徒指導強化事業指定校
- 3. 4. 1 校内放送設備更新(音声・映像放送可能)
- 5.10. 1 コンピュータ室新設(旧視聴覚室)
- 6. 3.31 学校保健統計調査実施指定(文部省)
- 7. 4. 1 水泳プール改修工事完了
- 11. 7. 9 バックネット移築工事完了
- 11. 8.31 創立30周年記念式典挙行
- 12. 4. 1 水戸市児童生徒ボランティア活動普及事業協力校
- 14. 6.19 通用口(妙雲寺側)門扉設置
- 16.10. 1 小林育英会スポーツ奨励賞受賞
- 17.12.22 茨城算数・数学教育研究発表
- 19. 6.12 不登校児童生徒解消支援事業継続, 心の教室相談員配置
- 20. 4. 1 サイエンス・グランプリ学校賞受賞
- 22. 1. 7 創立40周年記念行事実施
- 22.11.23 小林育英会スポーツ奨励賞受賞
- 23. 2.10 小林育英会スポーツ奨励賞受賞
- 24. 2.15 小林育英会スポーツ奨励賞受賞
- 26. 2.19 校舎増改築工事開始
- 27. 1.26 小林育英会スポーツ奨励賞受賞
- 27. 2.24 校舎増改築工事終了
- 28. 6.10 新校舎利用開始
- 28. 6.24 市小中一貫教育に関する研究校
- 29. 4. 1 ブレデンシヤル生命ボランティア・スピリット・アワード コミュニティ賞受賞
- 29.11.26 JA共済全国小・中学校書道コンクール優秀学校賞受賞
- 30. 2. 2 小林育英会スポーツ奨励賞受賞
- 30. 2.16 茨城県中学校新人体育大会陸上競技女子団体優勝
- 30.11. 2 茨城県中学校総合体育大会陸上競技女子4×100mR優勝
- 令和元. 7.12 小中一貫教育研究指定完結発表
- 元.10. 9 小林育英会スポーツ奨励賞受賞
- 2. 2.10 創立50周年記念行事実施
- 2.11.10

# 校舎配置図



# 令和3年度 学校経営の全体構想



【見川中学校区小中一貫教育 教育目標】  
**将来をたくましく生き抜く力をもつ児童生徒を育む**

夢と志をもち, 可能性に挑戦する力



新学習指導要領

本県の教育目標

いばらき教育プラン

一人一人が輝く教育立県を目指して  
 一人ひとりの自主性・自立性を育もう

学校教育指導方針

一人一人が輝く活力ある学校づくり



**本校の教育目標**  
 校訓に基づき, 「正しく」, 「強く」, 「美しく」 生きることのできる生徒を育成する

**団結**

一共によくなるために

水戸市の教育目標  
 知性に富み, 心身ともに健全な風格を備えた人間(水戸人)の形成に努める

- 水戸市教育施策大綱
- ・規律と協働を高める八策
- ・水戸スタイルの教育
- ・チャレンジプラン
- ・グローバルプラン
- ・キャリアプラン
- ・ふれあいプラン

見川中学校  
 コミュニティスクール

目指す生徒像

- 正しい判断のできる生徒
- 心身ともに健康で丈夫な生徒
- 人の気持ちが分かる生徒

目指す学校像

- 学ぶ喜びが実践できる学校
- 礼儀正しく, 笑顔あふれる学校
- 環境が整った美しい学校

目指す教師像

- 指導力があり, 信頼される教師
- 優しさや厳しさをもった, 人間性豊かな教師
- やる気と情熱に満ちた教師

経営方針 ◆ 生徒・教職員がともに**目標**をもって生き生きと活動し, **達成感**のある学校づくりをする。

指導の重点

生徒が主役  
 1 教職員の創意を生かした特色ある教育課程の編成, 実践を進め, 評価・改善を図る。

凡事徹底  
 2 生徒一人一人にとって居心地のよい学校, 落ち着きのある生活の実現を図る。

家庭, 地域社会との連携  
 3 学校, 家庭, 地域社会の連携・協力により, 地域と共にある学校の実現を図る。

教職員の資質能力の向上  
 4 業務の適正化と, 専門職としての使命感を自覚し組織的に研究と修養に努める。

本年度の組織目標 生徒が主役となる場を設定する。

努力事項及び具体的な施策

- 授業を改善する。
  - ① 話を聴く姿勢の重要性と意義を繰り返し指導し, 習慣化させていく。
  - ② 授業のねらいの明確化とともに, 伝え合い, 相談し合い, 深める場を設定する。
  - ③ 発表や振り返り, まとめの場を大切にさせる。
  - ④ 既習の知識を生かし, 学んだことの価値に気づかせる。
  - ⑤ 自主学習(マイスタ)を活用して, 予習または復習の習慣を培う。
- 感動を体験させる。
  - ⑥ 学校行事や生徒会活動等の機会を積極的に活用し, **生徒が主役となる企画を進める。**

- 当たり前のことを, 当たり前に行えるようにする。
  - ⑦ あいさつの意義を浸透させる。
  - ⑧ ルールを守ることや責任を果たすことの意義を浸透させていく。
  - ⑨ 運動や部活動への積極的な参加を進める。
  - ⑩ けがの未然防止, 交通安全への意識の向上を進める。
- 学級・学年に支持的な風土をつくる。
  - ⑪ 協働の意識をもつとともに, 称賛と励ましを丁寧に行う。(ありがとうの言える学級へ)

- 顔の見えるかかわりを大切にする。
  - ⑫ 来校者や要望に対して丁寧な対応をする。
  - ⑬ ジュニアリーダーを始めとして, 生徒の地域での活動を積極的に推進する。
- 発信と参加を大切にする。
  - ⑭ 学校便り・HPを利用し, 学校のよさを積極的に発信する。
  - ⑮ 地域の人材の効果的な活用を進める。

- 組織を生かし, 機能させる。
  - ⑯ 研究主任を中核に, 実践的な研修を推進する。(各種訪問の積極的な推進・研修会等への参加の推進・市教育論文への参加等)
  - ⑰ 会議の適正化, 行事のスリム化, コンプライアンス意識の高揚(日常的な事柄を大切にすること)を進める。

学校評価・教員評価等

